

会 議 録 (案)

会議の名称	令和元年度 第2回環境審議会
開催日時	令和元年10月30日(水) 午後6時から8時まで
開催場所	田無庁舎3階 庁議室
出席者	【委員】安永会長、松本副会長、黒川委員、内田委員、石崎委員、高木委員、玉記委員、渡邊委員 【事務局】萱野みどり環境部長、橘環境保全課長、石部係長、松下主任 【傍聴人】 0名 【欠席者】 降旗委員、鈴木委員
議 題	1 開会 2 委嘱式 2 内容 (1) 第1回環境審議会会議録(案)の確認について (2) 第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトについて (3) 第2次環境基本計画後期計画の施策(SDGs)について (4) 第二次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)後期計画の改定について (5) その他 3 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市環境審議会委員・事務局職員名簿 資料2 第1回西東京市環境審議会 会議録(案) 資料3 第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトの進捗について 資料4 環境基本計画の各課の事業とSDGsの結びつき一覧表 資料5 環境SDGs講演会チラシ 資料6 市の事務事業による温室効果ガス排出量とエネルギー消費量の推移
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><1 開会> (事務局より開会のあいさつ)</p> <p><2 委嘱式> (吉迫委員(選出区分「関係行政機関」)の異動に伴い、後任の黒川純氏への委嘱を行う。) (委嘱状の交付及び挨拶) (黒川委員より挨拶)</p> <p><3 内容> (1) 第1回環境審議会会議録(案)の確認について ○会長：第1回環境審議会会議録(案)の確認について事務局より説明願います。 (事務局より資料2について説明) ○会長：皆様いかがでしょうか、ご意見等あれば挙手をお願いします。 (意見・質問無し)</p>	

○会長：特に意見が無いようなので、承認ということにしたいと思います。

(2) 第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトの進捗について

○会長：続きまして、第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトの進捗について、事務局より説明願います。

(事務局より資料3について説明)

○会長：事務局からの説明に対して、質疑等ありますか。

○副会長：資料3に掲載している、河川清掃についての内容が保谷高校国際交流委員会との取組でよろしいか。

○事務局：その通りです。

○副会長：国際交流委員会なので、国際的なことを行っていると推測している。

委員会がほかの高校とつながっていれば活動が広がっていく。西東京市域に限定することは好ましくないで、このような取組はいっぱい入れたほうがいいのかと思う。是非、そういうことを検討して頂きたい。

○委員：今回ご協力頂いた3名の方との取組は保谷高校以外とも連携していければいいと思う。また、④みんなで外来種駆除のハクビシン・アライグマの捕獲駆除事業について、市の独自事業でしょうか、全部捕まえることは不可能ではないでしょうか。

○事務局：独自の事業であるが、このような取組は各自自治体で広がっている。また、少しでも取り組んでいかないと、数がどんどん増えてしまうため、続けていく。

○会長：①面的情報発信について、各団体のホームページへのリンクを、市のホームページに貼ることはいかがか。

○事務局：導入していきたい。

○委員：河川清掃について伺う。中学生、小学生がやりたい場合は実現可能か。河川清掃をしたい場合は環境保全課に連絡すればよろしいか。

○事務局：お見込みの通り、ご連絡いただければ市内環境団体の方と連携して河川清掃のサポートをします。

○会長：国際交流委員会が、どうして環境活動を行っているのでしょうか。

○事務局：きっかけはSDGsの取組への連携からです。学生の興味のある分野が環境分野だったため、このような流れとなりました。

○会長：どこの学校にも、国際交流委員会はあるのか。

○委員：学校によってあったり、無かったりする。

○会長：ある学校同士で、交流ができる可能性もあるのですね。

○委員：③マイバッグでお買い物については、いつ頃行うのか。

○事務局：市民団体とヒアリングを行う。次回の審議会までに方向性を示したい。

○委員：FM西東京を活用して情報発信するのもいいのでは。

○事務局：ご意見ありがとうございます。

○副会長：FM西東京以外にも、ジェイコムもある。報道機関に情報提供してはいかがか。地域で取材を受けたりすることがある。1日密着取材をされても、10分くらいの番組になるが、やってみてもいいのでは。

○事務局：ご意見ありがとうございます。

○会長：その他質疑はあるか。

(質疑・意見無し)

(3) 第2次環境基本計画後期計画の施策(SDGs)について

○会長：続いて報告事項に移る。第2次環境基本計画後期計画の施策(SDGs)に

ついて、事務局より説明願います。事務局説明願います。

(事務局より資料4、5について説明)

- 会長：何か質問、ご意見はありますか。
- 委員：11月に開催予定のSDGsの講座には、現在何名くらいの応募がありますか。
- 事務局：現在10名程度である。
- 委員：マイバッグを配布するのはどうか。何か仕掛けが必要なのではないか。何もしないと参加者が少なくなってしまうのではないか。駅でチラシを配布するなど、努力が必要かと思う。市報に掲載するだけでは、効果が少ないのではないか。
- 会長：広報はどのように行いましたか。
- 事務局：市報、ホームページ、その他公民館や図書館等の公共施設にチラシを配架している。なお、今回の講座はエコプラザ西東京の協力員、登録団体を主な対象としている。
- 委員：アスタ西東京で行う講演会は申込制か。
- 事務局：その通りです。
- 委員：申し込まなかったとしても、オープンな場所なので聞くことはできるか。何かやっているの、何となく聞く、その場で知れる仕組みはつくるのか。
- 事務局：パネル展示などする予定である。
- 副会長：SDGsを知ってもらうのは難しい。せつかくなら申込をした人にSDGsのピンバッジを配ってもいいのでは。それにより、ピンバッジを見かけた人が自主的に調べたりして、周知の和が広がっていくと思う。
- 委員：おしゃれなピンバッジなら私も付けてみたい。
- 副会長：せつかくの機会なので、裾野を広げるいい機会なので、地道な活動ではあるがいかかか。
- 事務局：ご意見として承る。
- 会長：その他質疑等ございますか。
- 委員：SDGsに関して、私自身は東京都環境公社に出向していたことがあり、そこではSDGsのカードゲームもあった。座学よりも手を動かす講座など、工夫してみるのはいかがでしょうか。
- 委員：環境講座は、大人より子供のほうが興味があるのではないか。対象年齢を引き下げていくことが大切。友達を誘ってくれたりもし、周知の和が広がる。もう少しやりかたがあるのではないか
- 事務局：ご意見として承る。
- 会長：その他意見等ございますか。
(質疑・意見無し)

(4) 第二次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)後期計画の改定について

- 会長：続きまして第二次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)後期計画の改定について事務局より説明願います。

(事務局より資料6について説明)

- 会長：ありがとうございます。質疑等はございますか。
- 副会長：資料6の2ページに増加傾向と記載があるが、非常に難しい。我々企業側も削減の義務がある。電気事業者ごとの基礎排出係数は、原発稼働時は係数が低かったが、原発が停止され、現在は石炭を燃やしているので排出係数が上がっているのが現状。市でコントロールできる問題でなく、とても厳しい。当社では、基準排出係数を設け、係数を変化させず実際の使用量が減っているのか否かを見るようにしている。

そのような取組はいかがか。

- 事務局：エネルギー消費量を改訂版に載せたいが、こちらも増加傾向である。
- 副会長：次に考えられるのが、効率的に使用できているかどうかである。気候変動によって昔は設備が無かったところでも電気を使用している。例えば教育のためにパソコンを導入したり、エアコンを導入したり、命の対策のほうが大切なので、消費量は増加していく傾向にある。そのような中でもどれくらい効率的にできるのかを見ていくのが必要なのではないか。電気の使用量が減っているのか、効率的な利用方法なのかを何かしらの指標を使って見ていく必要があるのではないか。頑張りの度合いが見える指標を原単位として入れるのが良いのではないか。
- 事務局：ご意見頂いた内容について調査する。
- 会長：その他意見等ありますか。
- 委員：エネルギー消費量の話について、10年前、20年前の家電なら買い換えすると対策になると思われるが、実際はどうか。エアコンは何%くらい設備更新が進んでいるのかなど、不明な点が多く、曖昧になっている。
- 会長：省エネ機器への更新のルール等はあるのか。
- 事務局：老朽化しているものは、必要な予算として計上されている。古いものから順次更新していくので、10年程度では残念ながら更新することができない。昨年は保育園で設備更新があり、ランニングコスト等効果があった。より良くしていこうと取り組んでいるところである。
- 会長：他にありますか。
- 委員：保育園などのエアコンを買い替えたなどは、小学校や市役所等、それぞれまとめてされているのか。
- 事務局：その時々でまとめている。
- 委員：どこかでその効果が分かるように表現するのがいいのではないか。実際に買い替えて改善したことがあっても、総量で増えているのでは、原因がわかる範囲で特定できることがあればいいと思う。
- 事務局：環境白書では、市の事務事業の取組が記載されている。各課の取組も記載されている。空調については記載がないが、太陽光発電等の導入については紹介している。もうすこし分かりやすく周知し、皆さんに分かりやすいようにしていきたい。既存のもの削減効果や、種別ごとの対比等、事務局で検討する
- 会長：東京都では、使用量が削減されていると聞いたがいかがか。
- 事務局：当市の特殊事情として、合併したという経緯がある。2市分の施設がある。学校の統廃合が進むかと思いましたが、施設数が思ったよりも減っていない。また、財政状況が厳しいので設備更新が先送りになるという面もある。空調機器はリース品を、再リースにしている。
- 副会長：活動が見えにくい。設備投資ができないのであれば、運用面ではどのようなことを考えていますか。例えば、何時にオン、何時にオフなど運用のルールは決まっているのか。その他にも残業を無しにする日、休日出勤しない日など設定し、休館日をつくるような運用面のことが見えにくいので、どうなっているのかと疑問が残ってしまう。とことん使うのであれば、できることは何かを是非考えていただきたい。
- 事務局：西東京市は ISO14001 を早期に導入しており、かなり厳しく取り組んでおり、定時以降は空調が停止する。
- 副会長：そういったことをアピールするのが必要ではないか。例えば帝国ホテルはエコマーク所得しており、業界で集まって互いに情報交換をしている。先進自治体もあると思われるので、横のつながりを積極的に活用していただきたい。

- 会長：その他意見等ございますか。
- 委員：エネルギー消費量について。平成25年度が高くなっている。気候が寒くなるとエネルギー消費量が増える。平成25年度は東京に大雪が降ったときだったと記憶している。気候など不可抗力の面も分析の要素として入れたほうがいいですね
- 事務局：ご意見感謝する。
- 会長：その他意見等ございますか。
(質疑、意見等無し)

(5) その他

- 会長：続きまして、その他について事務局から報告願います。
- 事務局：食品ロスの法律が施行された。そのため、削減計画の策定や施策の展開が求められている。これについては環境基本計画61ページに掲げている。また9月の議会でも食品ロス、フードドライブの展開についてご意見をいただいた。関係各課でフードドライブの仕組みづくりについて検討をしている。
- 事務局：第3回目の審議会の日程調整をしたいと思います。1月28日、若しくは30日のご都合はいかがでしょうか。
(各委員より意見)
- 事務局：それでは1月28日に開催させて頂きます。会場及び時間は今回と同様でお願いいたします。
- 会長：質疑等ございますか。
- 委員：フードドライブとはどのようなことか。
- 事務局：賞味期限が切れていないが、もう使わない食品を、必要としている場所、例えば子供食堂や放課後カフェに譲ることです。
- 会長：その他意見等ございますか。
(質疑、意見等無し)
- 会長：意見等ないので、以上となります。議事は終了しました。

<4 閉会>

- 会長：ほかに委員の皆様から何かございますか。
- 委員：カロリー計算してみました。摂取カロリーと排出カロリーのバランスが悪いのかと思った。こういうのを食品ロスにつなげるために、バランスを見るといいと思います。こういうのも面白い取り組みかと思いました。自分自身がどう生きたいか、どうありたいか、ほどほどの食事も必要かと気づきました。
- 会長：これにて第2回環境審議会を閉会します。

以上